

要 約

エチルフェニルアミンのオオミジンコ(*Daphnia magna*)による繁殖試験を実施した。

試験は、1試験区10頭を用い、5濃度区[設定濃度：1.20、0.600、0.300、0.150及び0.0750 mg/L(公比2.0)]及び対照区、暴露期間21日間、水温 $20\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、1日に1回試験液の全量を交換する半止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、調製時では設定値に対して94.3～102%、換水前では67.0～85.8%であり、設定濃度の $\pm 20\%$ を超えていた。したがって、試験結果は測定濃度の時間加重平均値に基づいて算出した。

エチルフェニルアミンの21日間における親ミジンコの半数致死濃度(LC50)は $>1.04\text{ mg/L}$ 、50%繁殖阻害濃度(EC50)は 0.631 mg/L 、最小影響濃度(LOEC)は 1.04 mg/L 、最大無影響濃度(NOEC)は 0.540 mg/L であった。